

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙「みらい」  
NO. 4415  
24年1月16日(火)  
Tel・Fax 095-828-1953  
文責 支部書記長

# 郵政ユニオン長崎 2024年新春旗開き

おはようございます。

1月13日(土)、支部は「郵政ユニオン長崎2024新春旗開き」を開催しました。コロナ禍で3年連続中止となっていた旗開きですが、コロナ禍も明け、4年ぶりの開催となりました。

向井書記長の司会でスタートした旗開きの冒頭、元旦に石川県能登半島で起きた地震で亡くなられた方に哀悼の意を込めて出席者全員で黙祷を行いました。

旗開きの主催者挨拶で、山田支部長は「昨年の組合結成30周年記念レセプションも開催できたことは組合としても大きな力となった。昨年10月にスタートしたヤマト運輸との協業が今後本格化してくる。要員対策が重

要となる。24春闘ではストライキを視野にいれたたたかいが重要になってくる。今年も組合員が協力して活動していきます。」と挨拶しました。



続いての来賓挨拶では長崎地区労加世田書記長、長崎県労連鳥巢事務局長、九州労金長崎支店湯浅支店長、新社会党長崎県本部荒木書記長の4名の方に挨拶をいただきました。その後、乾杯の発声を原田副支部長が行い、歓談へと移りました。



今回の旗開きに関しては当初、飲食なしの集会形式で行う事も考えましたが、コロナの制限がないことを踏まえて執行部で話し合い、飲食を伴う

形で開催する事を決定しました。支部の旗開きは、料理から飲み物まで自分たちで準備して会場に持ち込む形をとっています。4年ぶりということもあり、きちんと準備できるか不安でしたが、組合員が協力して役割分担を行い参加者に提供することができました。



歓談中には地域の仲間や退職者の方々からも挨拶をいただきました。その他に現役組合員の紹介などもあり、参加者は箸を置き、それぞれの挨拶に耳を傾けていました。また、旗開き恒例のじやんけん大会では、熱戦の末に10名が洋菓子や

和菓子をゲットし笑みがこぼれました。

歓談スタートからあっという間に2時間が過ぎ、お開きの時間となりました。最後は山田支部長の団結ガンバローで締めくくり、参加者全員で記念撮影を行いました。出席して頂いた来賓や退職者の方々からは「良い旗開きですね」と言ってもらえました。来年も開催する事を参加者にお約束して「郵政ユニオン長崎2024新春旗開き」は閉会しました。



## 月給制契約社員等のあり方の見直し(提案)

標記について、昨年1月21日、日本郵政グループを代表して日本郵政(株)より郵政ユニオン本部に対して提案がありました。



月給制契約社員及び郵便・物流事業に従事する短時間社員について、2025年3月31日をもって社員区分を廃止し、同年4月1日付で正社員(一般職。短時間社員については、短時間勤務職も可能)又は時給制契約社員に変更するとの提案です。支部には、対象となる短時間社員の組合員がいます。提案なので、決定事項ではありませんが今後の対応を検討する必要があります。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めいめい、均等待遇を。

なぐさの差別ー。

ユニオンは労契法裁判に勝利するぞー！

